

2. 分野別状況 (1) 国際戦略総合特区

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
つくば国際戦略総合特区 (茨城県、つくば市、国立大学法人筑波大学)	3.9	4 進捗度 ・連携企業数 128% ・事業・産業創出 (起業、ライセンス アウト、製品化 等) 50% ・事業化に伴う株 式公開(IPO)件 数 100%	3.7 規制の特例等 ・搭乗型移動 支援ロボットの 規制緩和 等 地域独自の取組 ・ロボットスーツ 治験事業 等	4	<ul style="list-style-type: none"> ・評価指標として掲げた共同研究契約等に基づく連携企業数が目標を上回る実績で推移しており、つくばテクニカルコンシェルジュ(TTC)の技術相談のワンストップ窓口などによる産学官連携の取組の成果が表れている。 ・時間軸も含めて、研究段階での企業連携から起業、ライセンスアウト、製品化へどうつなげるかが課題かと思われる。 ・BNCTは注目されている治療技術にて、今後の研究の推進を期待する。 ・TIAの仕組みは他機関においても参考になるものであり、普及に向けての可能性について検討を期待する。 ・藻類バイオマスエネルギーの実用化が国の研究事業に採択されたことは有意義であり、今後の目標値への寄与を踏まえ、これらのフラグシップ的な取組の進展に期待したい。 ・比較的良好結果を出していると言える。